

## 第58回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：平成28年8月29日（月） 11：25～11：45
- 場所：特別室（本庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

それでは、ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。  
まず、議題に入る前に台風10号への対応について、危機管理部長。

### 【危機管理部長】

資料「台風の接近に備えて」を御覧ください。本日10時半から気象庁が開催いたしました、台風説明会で頂いた資料です。

まず、4ページを御覧ください。これが現在の予想進路です。このまま進みますと、東日本に上陸する可能性が非常に高いということです。

5ページを御覧ください。まず、台風の接近ですが、30日の昼前から夕方にかけて、具体的な時間になると9時から18時の間で、本県に最接近をする予想されております。それから、上から二段目の雨ですが、雷を伴い、29日から強まり、30日は非常に激しく、1時間当たり50ミリから80ミリの激しい雨が降る予想です。それから、四段目の風ですが、台風の勢力が非常に強く、945ヘクトパスカル、今、中心付近は秒速45メートルの風が吹いております。風が非常に強いということで、29日から次第に風が強まり、30日には、毎秒20メートルから30メートルと非常に強い風が吹くと予想されております。六段目の高潮ですが、こちらについても非常に注意が必要であり、高潮による浸水や冠水の恐れ、特に30日の未明、それから、15時付近においては、非常に高潮と満潮が重なるということで、注意が必要です。各部局、関係機関等の連携を図りながらしっかり対応を取っていただきたいというのが、1点です。

それから、朝の部長会議で知事から御指示のありました関係機関との連携ですが、11時半から庁内の防災の連絡会議を開催いたしまして、その模様については、テレビ会議で県の出先機関と市町村とつなぎ、情報の共有を図ってまいります。

それから、御指示の2点目ですが、東京電力及び国に対する申し入れにつきましても、しっかり対応を取れるようにということで、ルートを通して申し入れを行うようにしております。

### 【鈴木副知事】

これに関して、何かありますか。

それでは、議題に入ります。まず、議題の1つ目、「アーカイブ拠点施設」について、文化スポーツ局長。

### 【文化スポーツ局長】

資料1-1を御覧ください。アーカイブ拠点施設につきましては、未曾有の複合災害である東日本大震災及び原子力災害の実態と復興への取組を正しく伝え、教訓として、国を越え、世代を超えて継承・共有していくことを目的として整備するものであります。

また、イノベーション・コースト構想の中の国際産学連携拠点の一つとして位置付けられ、復興の拠点となることも期待されておりまして、スピード感を持って整備を進めるために、県が主体となって、現在、基本構想の策定作業に着手しております。

なお、本日公表されました平成29年度復興庁概算要求におきまして、「情報発信拠点の整備」について触れられているところであります。

基本構想の策定に当たりましては、設置場所を特定させる必要があるため、設置要望のあった市、町の現地調査やヒアリング等を行い、各候補地の比較検討をさせていただきました。この場で御審議いただき、設置場所を決定していただきたいと考えております。

資料1-2を御覧ください。今回、3つの市、町から合計4つの提案がございました。それぞれの候補地の概要について御説明をさせていただきます。

1 ページを御覧ください。南相馬市の北泉地区です。原町火力発電所の南側で北泉海浜総合公園に隣接する場所です。

2 ページを御覧ください。双葉町中野地区です。復興祈念公園予定地の南西に隣接する場所です。

3 ページを御覧ください。浪江町請戸地区です。こちらは、復興祈念公園予定地の北側で、請戸小学校のグラウンドを含む土地です。

4 ページを御覧ください。同じく、浪江町両竹地区です。復興祈念公園の北に隣接する場所です。

続きまして、資料1-3を御覧ください。アーカイブ拠点施設の設置場所選定の視点といたしまして、6つの視点で評価いたしました。

資料1-4を御覧ください。項目ごとに個別に評価しておりますので、主なものを御説明いたします。

- ① 災害の記録や教訓の継承・共有の場としての妥当性、および複合災害の情報発信拠点としての適性」ですが、立地町の区域である双葉町中野地区がより適していると考えます。

④「用地確保の容易性」ですが、南相馬市北泉地区は、用地の9割程度市で取得済みであること、また、浪江町の両地区につきましては、今年度中に取得の見込みということで、早期着手が可能であることから適していると考えております。また、双葉町中野地区におきましても一団地の整備事業として、しっかりとした計画を示しているところです。

⑥「復興拠点施設としての貢献度」ですが、他の復興拠点等がない双葉町、さらに浪江町について、ロボットテストフィールドの滑走路が整備されるものの中核となる拠点がなく、これらの地区において同施設が復興の加速化に寄与する貢献度が高いと考えます。

以上、アーカイブ拠点施設の基本理念に照らしまして、災害の記録や教訓の継承・共有としてふさわしく、複合災害の情報発信の役割を果たし、復興拠点としての貢献度が高く、復興祈念公園と連携できる「双葉町中野地区」が最適地であるという検討結果を報告させていただきます。

#### 【土木部長】

ただ今、文化スポーツ局長から、アーカイブ拠点施設の候補地について、「双葉町中野地区」が最適地であるとの説明があったところですが、関連して、福島県における復興祈念公園と一体的に整備する「国営追悼・祈念施設（仮称）」について、説明いたします。

資料2-1を御覧ください。国営追悼・祈念施設（仮称）につきましては、国が地方と連携して岩手県、宮城県、福島県に各一箇所設ける旨、国の基本方針が示されているところであり、地方公共団体が整備する復興祈念公園の中に、国が被災者の追悼・鎮魂等のための中核的施設となる丘や広場等を設置することとしております。

なお、面積は数ヘクタール程度の予定とされております。

また、福島県における復興祈念公園については、昨年4月27日の第39回新生ふくしま復興推進本部会議において、公園候補地を「双葉・浪江両町にまたがるエリアの中野・両竹地区」に決定しております。

そして、「福島県における復興祈念公園のあり方（基本構想への県提言）」については、去る6月15日、第53回の同会議において、提言内容を決定し、提言書を同月17日に福島県知事より復興大臣に提出したところです。

資料2-2を御覧ください。国営追悼・祈念施設（仮称）については、今後、復興祈念公園の基本構想を検討する国の有識者委員会で、具体的な位置や規模が検討されることとなっておりますが、国の有識者委員会で、国営追悼・祈念施設の設置場所に係る県の意見を求められることも想定されることから、国の有識者委員会での検討に先立ち、福島県としては、国営追悼・祈念施設（仮称）

の設置町について、以下の視点により「浪江町」への設置を国へ要望したいと考えております。

設置町選定の視点ですが、浪江町は、津波被害等が甚大であり、追悼の場として妥当であると考えられます。

また、浪江町の公園候補地については、公園候補地に隣接する丘陵部の海側に位置し、丘陵部から被災地が一望できる状況にあることから、丘陵部と連携した施設検討も可能になると考えられます。

そして、先ほど、復興祈念公園と関連の深い、アーカイブ拠点施設の整備予定地が、「双葉町中野地区」に提案されたことから、復興祈念公園の中核的な施設である国営追悼・祈念施設（仮称）を浪江町へ設置することにより、双葉・浪江両町の連携のもと、「福島県における復興祈念公園のあり方（基本構想への県提言）」にあるとおり、復興祈念公園が双葉・浪江両町における復興の象徴となって、ふくしまの新しい姿やその軌跡を発信することが期待されると考えられます。

#### 【鈴木副知事】

今の2つの議題があり、アーカイブ拠点施設については、双葉町中野地区、国営追悼・祈念施設については、浪江町ということで提案がありました。

これらについて何か意見はありませんか。避難地域復興局長。

#### 【避難地域復興局長】

アーカイブ拠点施設については、複合災害を経験した本県の特殊性を考えますと、原子力災害を抜きに語れないのは当然のことと思います。全町避難という原子力災害の影響の大きさ、特に、福島第一原子力発電所が立地し、帰還困難区域が町の9割以上を占める双葉町に整備することが、復興拠点施設としての貢献度を考えてもふさわしいのではないかと思います。

国営追悼・祈念施設（仮称）については、津波被害が大きかった浪江町に設置することが、鎮魂の場として妥当ではないかと考えております。

今後、両町にとって、交流人口を拡大していくことが非常に大切なことであると思います。国内外から多くの人を訪れるようなアーカイブ拠点施設、あるいは復興祈念公園となるよう、国に対し、財源確保を求めながら、しっかりと整備していく必要があると考えております。

#### 【鈴木副知事】

他に意見はありませんか。危機管理部長。

### 【危機管理部長】

廃炉の観点から一言申し上げたいと思います。燃料デブリ取り出しに向けては、取り出し方法の検討が進められておりますが、並行してその実現のための技術開発も必要であり、技術開発のためには世界の英知を結集することが不可欠であります。このため、今後、30年、40年と長期に及ぶ廃炉作業の間、ふくしまの今を世界に向けて発信し続けていくことが重要であります。また、発信に当たって福島第一原子力発電所や廃炉関連施設との連携も必要となってくることから、世界に向けた情報発信の拠点を、立地町である「双葉町」とする文化スポーツ局長の説明を支持いたします。

### 【鈴木副知事】

他に意見はありませんか。

無ければ、アーカイブ拠点施設の候補地については、「双葉町中野地区」、復興祈念公園内の国営追悼・祈念施設（仮称）については、「浪江町」への設置を国に要望することに決定したいと思います。よろしいですか。

それでは、アーカイブ拠点施設の候補地は「双葉町中野地区」、国営追悼・祈念施設（仮称）は「浪江町」への設置を要望することに決定いたします。

最後に、知事からお願いいたします。

### 【知事】

原子力災害は未だ継続中であり、福島県のアーカイブ拠点施設は、未来や世界に向けて、福島の実状や教訓を発信していく大切な施設となります。

また、復興祈念公園は、震災で失われたすべての命へ想いを寄せるとともに、復興を祈念する場として、多くの人が集い、未来への希望をもたらす公園となることが求められます。

双葉町、浪江町、そして国と連携しながら、スピード感を持って、一日も早い整備を目指してください。

### 【鈴木副知事】

次に、報告事項「平成28年度第2次補正予算及び平成29年度復興庁予算概算要求」について、企画調整部。

### 【企画調整部政策監】

平成28年度第2次補正及び平成29年度予算概算要求について、それぞれ復興関係予算の状況を報告いたします。

まず、平成28年度第2次補正につきましては、資料3-1であります。本

県関係では、「原子力被災12市町村における営農再開支援」として約70億円、「原子力災害被災地域等における創業等支援」で2億円、また、「原子力災害からの復興・再生」の「放射性物質に汚染された土壌等の除染の実施」として3,307億円がそれぞれ計上されたところであります。

資料3-2、復興庁の来年度予算概算要求についてであります。

「被災者支援総合交付金」が220億円、「被災地域における地域医療の再建支援」として260億円が要求されております。

「産業・生業の再生」ですが、新規として「被災地の人材確保対策事業」11億円、昨年度に引き続き、ロボットテストフィールド等、「イノベーション・コースト構想関連予算」が要求されております。

「原子力災害からの復興・再生」の「福島再生加速化交付金」については1,012億円、「福島生活環境整備・帰還再生加速事業」の措置額が今年度から倍増の150億円が要求されております。さらに、「農林水産物等の風評被害対策」については、事項要求として掲げられております。以上です。

#### 【鈴木副知事】

今の説明に関し、意見はありませんか。

無ければ、知事からお願いいたします。

#### 【知事】

6月9日の「復興・創生」に向けた政府要望をスタートに、各部局が各省庁と折衝を重ねてきました。

そして、先月の福島復興再生協議会においても、避難指示の解除など、平成29年度が極めて重要な年度となることから、私から改めて本県の考えを強く訴え、確実な予算措置や制度の充実を求めたところであります。

本日公表された復興庁概算要求においては、先ほどの議題にあったアーカイブ拠点施設整備について触れられているほか、被災地域における医療提供体制の再構築、イノベーション・コースト構想の推進、避難者支援や風評・風化対策の充実等に関する予算措置、また、補正予算においても、被災12市町村における営農再開支援が盛り込まれています。

今後も引き続き、他省庁の概算要求の状況についても情報収集に努めるとともに、事項要求となったものを含め、本県の復興に必要な財源の確保が確実になされるよう、年末の政府予算案の決定に向けて、全庁一丸となって取り組んでください。

**【鈴木副知事】**

以上で復興推進本部会議を閉じます。